

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※皆さんでご覧ください。

盂蘭盆会

八月四日(日曜)

午後一時から三時まで

例年通り、盂蘭盆会法要が厳修されます。一緒に読経し、ご先祖様に想いを馳せましょう。法要後、ご好評頂いております浅草緑泉寺の青江覚明先生のご法話があります。是非お説き合わせの上、ご参詣ください。また、当日は交通整理をお願いしていますが、車の方はくれぐれもお気をつけて。

■町田駅バスセンター発
小山田行

(行き) 十二時十七分
(帰り) 三時十分

■淵野辺駅北口前発
小山田はなみずきの丘行

(行き) 十二時二十分
(帰り) 三時十八分

※小山田停留所でお降り下さい。

住職の仏々

皆さんこんにちは。新元号「令和」に入り初の「ほつ寺通信」となります。この「令和」とても響きが良く、良き(令)平和な日本を象徴しているように思えます。

ご存知の通り、出典は「万葉集」とのことです。日本人の誇りにも繋がりそうです。世間での評判も良好のようですね。さて、お寺にとても、元号は欠かせない存在です。お墓や法名を記す過去帳や位牌では元号を用いるのが通例だからです。これが西暦では違和感がありますね。それもそのはず、西暦はキリストが生まれた年を起源とする訳でキリスト教と深い関係があります。そういう意味で、仏教では仏曆(お釈迦様が亡くなられた年を起源とする)を重視することもあるのですが、まだまだ一般

的ではないようです。諸説あるようですが、今年は仏曆2562年です。(西暦に543年を加える)何にせよ、新時代「令和」に入り気持ちを新たに何か目標を持つて生きていきたいものです。

和をもつて尊しとなす

「令和」から、この言葉を思い浮かべた方も多いのではないでしょうか。実際、名付け親と言われている国文学者の中西進さんも、インタビューでおっしゃっているように思えます。

ようです。かの有名な聖徳太子によつて制定された十七条憲法の中の一文【以和為貴】を書き下した

言葉です。それに続く【無忤爲宗】は、「さからうことなきをむねとせよ」。現代にも通づるこの「和」の精神、他国も見習つて貰いたいものです。そして、この聖徳太子が重んじたのが十七条憲法にも出てくる仏教「篤く三宝を敬え、三

【僧宝(そうぼう)】僧という宝僧伽(サンガ)の略で、仏弟子の集まりのことです。インド・中国・日本の僧のおかげで日本に仏教は伝わりました。

つまり、三宝は仏教そのものと言えるのではないでしょうか。私も僧の一員でもあります。「令和」新时代に入り、身を引き締めて仏教を学び弘めていかねばと心新たに思つた次第です。皆様も、「令和」にちなんで、和の精神、そして仏教を大切にされて下さい。

【仏宝(ぶつぽう)】仏という宝【仏】とはさとりを開かれた方

第19号
1日 > 正
令和元年7月
<発行責任者慶藤野(住職)

二宝

が重んじたのが十七条憲法にも出てくる仏教「篤く三宝を敬え、三

【僧宝(そうぼう)】僧といふ宝僧伽(サンガ)の略で、仏弟子の集まりのことです。印度・中国・日本の僧のおかげで日本に仏教は伝わりました。

つまり、三宝は仏教そのものと言えるのではないでしょうか。私も僧の一員でもあります。「令和」新时代に入り、身を引き締めて仏教を学び弘めていかねばと心新たに思つた次第です。皆様も、「令和」にちなんで、和の精神、そして仏教を大切にされて下さい。

掲示板

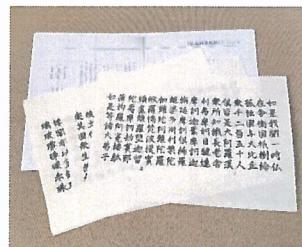


最近、大門の右に設置してある掲示板の内容がいつもと違うことにお気づきでしようか？

実は、今年1月に行われた世話人会での新年会の時に、皆さんのが、私は「大門横の掲示板の標語がマンネリ化しているので、月一ペースで私住職が選んだ標語を筆で書くことにします」と発表してしまったのです。前々からやろうと思つていて、中々実行に移せなかつたのですが、折角なのでこの機会にということで一念発起した訳です。今の所、何とか月一ペースを守っていますが、どうなりますやら？（笑）そして参詣時に今月の標語はなんだろう？と少しでも気にかけて「なるほど」と思つて頂けたら幸いです。

月例会

正山寺では、月一回（基本的に第二火曜日）、皆様との交流の場として、月例会（読経練習と法話や写経）を行っております。遠慮なくご参加下さい（無料）。なお、初めての方は、電話やメールにてお問い合わせ下さい。



現在、阿弥陀経の写経を行っています。少々長いので来春まで掛る予定です。途中からの参加も歓迎します。

■日程 (令和元年)	午前九時三十分
■時間	九時から十一時頃まで
■場所	正山寺庫裏 または休憩所

※八月と十一月は休み。日程変更はホームページにてお知らせします。

坊守のコラム

ぼうもり※住職の妻

令和とか元年という響きには、もう慣れた頃でしょうか？さて、息子の話か愛犬の話かで悩むところですが、今回は息子の話で。

今年の四月から小学校へ通い始め、三ヶ月が経ちます。専ら給食と休み時間が楽しみと話す様子に一抹の不安もあり、本業の勉学にも励んでほしいものです。（笑）

小学校までの道のりは1キロ程度ですが、大人なら15分もあれば通えるところ、お友達とおしゃべりしたり、あっとにふらふら、こつちにふらふらと、30分程かけて帰宅します。帰り道、大門を越えてからの急坂がどうしても辛いようです。歩かれたことがある方なら納得されるかと思います。ランドセルも重く、一步一步がゆづり：毎日通えば体力もつくでしょうか。住職も通つた道のり、頑張るしかないですね。お墓参りの皆さんも、バスでいらっしゃる方、下の駐車場に止めて来られる方、43段の階段を登られるのは一苦労ですよね。更に、墓地まで坂道

や階段が…本当にお疲れ様です。ただ、周りに田をやりますと良い景色が広がっているかと思います。少しでも清々しい気持ちになつて頂けましたら幸いです。吳々もお気を付けてお参り下さい。

あとがき

今回、新元号令和の話題で終始してしまった感があります。元号を大切にするお寺にとっても、小学校へ入学した息子にとつても、忘れられない年となるかと思います。そして、皆様にとりましても良き時代となりますよう、寺族一同念じております。これからも正山寺をよろしくお願い致します。

寺報「ほっ寺通信」 第19号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職：藤野慶正（発行責任者）
住所：〒194-0201
町田市上小山田町1504
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<http://shousan.net>
メール：info@shousan.net